【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公表番号】特表2008-507602(P2008-507602A)
【公表日】平成20年3月13日(2008.3.13)
【年通号数】公開・登録公報2008-010
【出願番号】特願2007-521853(P2007-521853)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｂ　11/145　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 8/73　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　 5/12　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　 5/02　(2006.01)
Ｄ２１Ｈ　17/26　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　21/01　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　 1/56　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｂ　11/145
Ａ６１Ｋ　 8/73
Ａ６１Ｑ　 5/12
Ａ６１Ｑ　 5/02
Ｄ２１Ｈ　17/26
Ｂ０１Ｄ　21/01　１０７Ｚ
Ｃ０２Ｆ　 1/56　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月9日(2008.7.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項８】
ａ）セルロース又は側鎖、例えばヒドロキシアルキル基に結合したタイプ－（ＣＨ$_2$）$_n$－ＮＲ$_1$Ｒ$_2$
［ただし、
ｎは、少なくとも２であり、
Ｒ$_1$及びＲ$_2$基は、互いに独立して、１～２４の炭素原子を有し、場合によりヘテロ原子によって置換された脂肪族又は枝分かれ状又は環式アルキル又はアリール置換基、又はＨ、又は二つのＲ$_1$及びＲ$_2$基は、一緒に窒素を含む環を形成してよい］
である置換基を含み、
ｂ）タイプＲ$_3$であるアルキル置換基を含み、
［ここで、Ｒ$_3$は、好ましくは－（ＣＨ$_2$）$_m$－ＣＨ$_3$であり、ｍ＝０～３であり、$DS_{アルキル}$＞０．１である］、
ｃ）タイプＲ$_4$であるヒドロキシアルキル置換基を含み、Ｒ$_4$は－ＣＨ$_2$－ＣＨ（Ｃ$_p$Ｈ$_{2p+1}$）Ｏ－｛ＣＨ$_2$－ＣＨ（Ｃ$_p$Ｈ$_{2p+1}$）Ｏ｝$_q$－Ｃ$_r$Ｈ$_{2r+1}$であることが好ましい
[ここで、ｐ=０又は１、ｑ＝０～３０、ｒ＝０又は１及び$MS_{ヒドロキシアルキル}$＞０．１である]、並びに
ｄ）アンヒドログルコース単位当り０．８～２である、置換基－（ＣＨ$_2$）$_n$－ＮＲ$_1$

R_2、R_3及びR_4の全体の置換度（個々の置換度の合計）を有し、それらは、[置換基－（CH_2）$_n$－NR_1R_2に対して］窒素含有量から、又は［置換基R_3及びR_4に対して］ツァイゼル開裂後測定される
アミノ基含有セルロース誘導体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
本発明は、
ａ）セルロース又は側鎖、例えばヒドロキシアルキル鎖に結合したタイプ－（CH_2）$_n$－NR_1R_2
［ただし、
ｎは、少なくとも２であり、
R_1及びR_2基は、互いに独立して、１～２４の炭素原子を有し、場合によりヘテロ原子によって置換された脂肪族又は枝分かれ状又は環式アルキル又はアリール置換基、又はＨ、又は二つのR_1及びR_2基は、窒素と一緒に環を形成することができる］
の置換基を含み、
ｂ）タイプR_3であるアルキル置換基を含み、
［ここで、R_3は、好ましくは－（CH_2）$_m$－CH_3であり、ｍ＝０～３であり、$DS_{アルキル}$＞０．１である］、
ｃ）好ましくはヒドロキシエチル、ヒドロキシプロピル及びヒドロキシブチルを含んで成る群からのヒドロキシアルキル置換基を含み、$MS_{ヒドロキシアルキル}$＞０．１であり、並びに
ｄ）０．８～２．５の間の、置換基－（CH_2）$_n$－NR_1R_2、R_3及びヒドロキシアルキルの全体の置換度（個々の置換度の合計）を有し、それは、[置換基－（CH_2）$_n$－NR_1R_2に対して］窒素含有量から、又は［置換基R_3及びヒドロキシアルキルに対する$DS_{アルキル}$］ツァイゼル開裂（Zeisel cleavage）後測定される
アミノ基含有セルロース誘導体も提供する。